ワムタウン広場

WAM Town Open Space !

WAM TOWN

発行　ワムタウンネットワーク推進協議会
〒359-1152 埼玉県所沢市大字久米 532 番地 1
TEL 04-2997-5510　FAX 04-2992-5544
http://www.wam-town.jp/　E-mail:koho@tl-wam.or.jp

協力　医療法人啓仁会
医療法人昭仁会
社会福祉法人栄光会
医療法人社団紫雲会

1

第 87 号　2015 年／平成 27 年 1 月 1 日（木）

新年のご挨拶を申し上げます

MSS 保健医療福祉グループ　代表　矢吹甚吾

皆さん、新年おめでとうございます。

昨年は、４月に消費税率の引き上げがあり、上向きかけた景気は足踏み状態となり、経済の見通しは依然不透明なままです。しかし、日本の研究者がノーベル物理学賞を受賞するなど、明るいニュースもありました。また、ソチオリンピックでの羽生結弦選手の金メダルの獲得、テニスの錦織圭選手が大活躍するなど、若い世代のはつらつとした姿が印象的な一年となりました。

今年は、未年の中でも「乙未（きのとひつじ）」になります。「乙（きのと）」という文字は、ツバメを描いた象形文字で、上から下へおさえる、すなわち、植物であれば種が地中で時期が来るまで待機している状態を表しています。そして、「未（ひつじ）」という文字は、行為・経験・状態などが、まだ熟していないことを表します。いろいろな問題が起きても、あせらず、じっと我慢し、将来への布石を打って、期が熟するまで待つこと大事なことと考えることもできます。

政府は、地方創世の議論を始め、「まち・ひと・しごと創生本部」では、東京一極集中への歯止めや地方への移住を大きな論点として掲げ、人の流れを変えることを重要な視点に掲げています。一方、厚生行政においては、「地域包括ケアシステム」の構築が国策となっており、住み慣れた地域で、医療・介護・住まいなどを包括的に提供する体制づくりを進めており、むしろ人が移動しなくともすむように検討を進めています。更に、消費税率 10％への引き上げが延期になり、社会保障費の抑制に一層拍車がかかりそうな状況です。

このような不透明な状況のなかで、我々が何を進めて行けばよいのかが、大きな課題となりますが、今まで取り組んできた「ワム・タウン」造りこそが、まさに厚生行政が推進する「地域包括ケアシステム」そのものであることを認識し、地域の医療機関などと広く連携を進め、「地域包括ケアシステム」の重要な役割を担い、地域の皆さんから信頼される保健・医療・福祉を提供することが大切であると考えます。

ＭＳＳ保健医療福祉グループも大きな組織体になってきましたが、各組織が連携し、それぞれの地域の皆さんに、良質な保健・医療・福祉を提供し続けられる組織を目指したいと考えております。

２０１５年風が吹けば

医療法人啓仁会　理事長　角岡東光

明けましておめでとうございます。

昨年末、第 47 回衆議院選挙が行われて、皆さんご存じの結果で今年を迎えました。ある程度予想していた結果になりましたが…

昨年を表す言葉に“税”が選ばれました。一年間の出来事を振り替えると、良いこと・悪いことと色々あったが、どうにか今年を迎えることができました。

今年も例年並みに三社詣りに行き、いつものように平穏無事に一年中過ごすことができるようお願いしました。国民が選択した政権ですから、次の選挙まで国民は従わなくてはならない。今年からの日本は、どこに行こうとしているのだろうかというのが、多くの人びとの実感ではないでしょうか。

震災復興のめどもたたず、原発の問題も深刻です。経済的な不況は相変わらず続き、雇用の不安・子育ても心配の種です。風水害の自然災害、火山列島の日本。心配をしたら切りがない。それでも私たちは、この日本の国で生きて行かねばならぬ。元気を出して、明日へ向かって生きて行かねばなりません。

新年のごあいさつ
皆さん、明けまして お目でとうございます

医療法人昭仁会　北野病院　名誉院長　西久保国昭

今年も宜しくお願い申し上げます。

今年の最初の題は、“近未来を予測しよう”です。私達は予言者ではありませんので一寸先のことは誰にもわかりません。

しかし少しずつ年を取り、経験を積み重ねると、何かしら“近未来を予測”する力が湧いて来る様です。もちろん日頃から、情報を集めたり勉強する努力は必要です。

家では親として家族を守り、職場では各部署の長として部下を守って行く為に“近未来を予測する”ことはとても大切なことだと思います。

普通は心配事、不安、恐怖等を回避する為に予測と準備をします。この積み重ね、経験が“近未来の予測”につながって行くものと思われます。

“近未来を予測する”ことはとても大切なことです。毎日何も考えないで、ただボーッとしている人にはこれは無理でしょう！

今は大丈夫でも一寸先にどんな危険があるかもしれません。

今年も又、日常生活のすべてにおいて“近未来を予測し”家族や自分の回りの人々を守って行く努力をしっかり行いたいと思っております。

できたら皆さんもご一緒にいかがですか !!

医療法人　啓仁会

常務理事　秋元　孝則

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災から４年が経とうとしています。被災地は、いまだに再建の途上にあり、被災した病院施設の再建や、復興住宅の建築に着手し始めた状況です。福島第一原子力発電所から 50 キロメートル弱の距離にある私の故郷の我が家も除染作業の連絡が届いたところです。

昨年は、一昨年に着手した、石巻ロイヤル病院（宮城県石巻市）の 120 床の病床を持つ新病棟建築工事が完了し、10 月に、219 床の病院として運営を開始いたしました。石巻市においては、震災後初めての病棟新築であったことから、新病棟の竣工披露式には、石巻市長・東松島市長・石巻赤十字病院長など、たくさんの地域の方々においでいただき、過分なるお褒めの言葉をいただきました。地域の皆さんの期待に応え、石巻地区の医療を支える一員として、さらに努力を続けたいと考えております。

今年は、４月に、介護報酬の改定が実施されますが、消費税の税率 10％への引き上げが延期になったことから、社会保障費全体の削減に一層拍車がかかることが予測され、マイナス改定ではないかと囁かれています。このような状況から、今年も厳しい運営を強いられることになるでしょう。

厚生労働省は、医療・介護の分野では、病床の機能分化・連携・在宅医療の推進する地域包括ケアシステムの構築を急務とし、医療・介護サービスの提供体制改革を推し進め、発症から入院・回復期（リハビリ）・退院までの流れをスムーズにし、早期の在宅・社会復帰を可能にし、地域での生活を継続的に支え、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる環境づくりを推進しています。

地域包括ケアシステムは、私どもの、ワム・タウンづくりそのものであることから、地域で求められる役割を果たせるように、地域での連携をさらに強化し、医療と介護を有機的・複合的な形で提供する体制づくりをさらに進めたいと考えております。

今年は、羊年です。「群羊を駆りて猛虎を攻む（出展　戦国策・楚策）」という言葉があります。力の弱いものでも集合すれば強力になるという喩えに使う言葉です。全員で一致協力して、この難局を乗り越えましょう。

所沢ロイヤル病院

（埼玉県所沢市）
院長　大久保　清一郎

新年明けましておめでとうございます

昨年の日本列島は、一年を通して自然災害に見舞われました。地震、噴火などは人の力ではどうにも立ち向かうことはできませんが、気象の異常現象の一部は地球温暖化と明らかに関連があると思います。この問題は、日本一国で解決できるものではなく、世界的視野にたって問題を共有する必要がありますが、昨今の世界情勢を見るとなかなか難しい課題と思います。しかし、大切なこの地球を、次の世代へきちんとした姿でバトンリレーをしていくためには、まず私たちの身近な環境を見直し、自然破壊を少しでも食い止めていく必要があるのではないでしょうか。

本年も昨年同様よろしくお願いします。

平沢記念病院

（埼玉県所沢市）
院長　平澤　秀人

あけましておめでとうございます。

昨年暮れに多くの国民が理解できぬまま衆議院が解散し総選挙が行われました。消費税、特定秘密法、集団的自衛権、アベノミクスなど争点になったものの、ほかに選択肢がないため結局自民党を多くの国民が選んでしまいました。これによって 2025 年に向けますます医療情勢は厳しくなることは明白です。

我々がかかわる医療、介護の分野では病床の機能分化、在宅医療推進、地域包括システム拡大などが一段と進められ、当院における医療のあり方も大きく変えなければならなくなりました。とは言え、これまでの当院で行ってきた物忘れ外来、睡眠障害外来、女性の心のケア外来、スポーツメンタル、うつ病外来は地域から大きなニーズがあり、よりいっそう充実させていくことも必要かと思っております。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

平成クリニック

（埼玉県所沢市）
院長　構木　睦男

東北の悲劇から４度目のお正月ですが、
未だに年賀を祝えません

小生の唯一の健康法は１日１万歩です。アチコチよく歩きますが、『防犯』の為に大きな目の写真を見かける地区があります。歩いていても、まるで監視されているようです。ある所では、「気をつけろ！泥棒が下見をしているぞ！」という立て看板を見つけて愕然としました。こんなことでは地域が活性化するはずがありません。地域が萎えてしまいます。それよりも、地域では大きな声で挨拶をする習慣を創り、明るい地域を作ることが有効だと思います。明るい挨拶は防犯＋経済活性化に有効→シャッター通り消失→地価が上昇→東北支援などと、小生の初夢は続きます。

介護老人保健施設 所沢ロイヤルの丘

（埼玉県所沢市）
施設長　鷲塚　誠

新年明けましておめでとうございます

２年前と同じで、総選挙の投票日前に書いています。状況は同じで自民党の議席数 300 超えの予想です。消費税を 10％まで引き上げるのは延期になりましたが、我々介護に従事する者にとっては大問題です。社会保障費の財源は引き上げられた消費税で賄うことになっていましたので、財源が不足することになります。来年度は介護報酬改定があります。財務省は６％カットの方針を打ち出しております。これほどまでの減額改定は、老健施設の経営基盤を根本から崩壊させるもので、到底受け入れることはできません。かかる事態に対し、全老健は全国の各支部と一致協力して、徹底して抗議を行っていくことにしました。改定案を全面的に見直していただくため、全国規模で抗議署名を行うことになりました。皆様方にもご協力をお願いします。新年早々お願いばかりで恐縮です。

平成の森・川島病院

（埼玉県川島町）
院長　坂井　誠

新年のご挨拶

昨年も異常気象、自然災害や国内外に大きな出来事がありましたが、今年は是非平穏な年であって欲しいものです。消費税 10％は先送りされましたが、医療・社会保障の充実には一層強く期待します。

さて当院は昨年７月に介護療養病床 60 床を医療療養病床に転換し、酸素や点滴管理などを必要とする方々の医療需要の増大に対応してきました。また医療療養病床の在宅復帰機能強化にも取り組んできました。今年は個室の増加を含む１階回復期リハビリ病床の増床を計画しており、一層医療サービスの向上を図って参ります。

今年も高齢者の QOL を重視した医療・看護・介護、チーム医療の実践、地域社会との連携を３本柱として職員一同邁進しますのでどうぞよろしくお願いいたします。

介護老人保健施設 平成の森

（埼玉県川島町）
施設長　塚田　俊彦

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

本年から井上勇先生の後任として、老健平成の森の施設長を務めさせていただきます。

昨年は消費増税実施と円安進行による物価上昇など、日本経済の様子が大きく変わりました。それにともない、一般消費者の生活も変えざるを得ない状況です。介護老人保健施設をめぐる環境変化も、予断を許さない状況かと思われます。しかし、何事も前向きに考えて方策を立てれば、道が開けるものと信じております。私どもの施設も、これまで培われた基盤の上に立って、利用者様の意向に沿いながら社会の変化に適応すべく努力したいと思います。今後とも皆様のご協力、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

川島クリニック

（埼玉県川島町）
院長　小鍛冶　明照

明けましておめでとうございます。

昨年４月～ 11 月迄の１ヶ月の訪問診療件数は約 190 件で大変忙しい一年でした。

昨年の新年号でも心配しましたが、想定外の自然災害が相次ぎ我々自身も今迄の考え方を根本的に変えてゆく時期だと思

います。

又、円安や消費税増税により個人消費が冷え込み消費税の再引き上げが延期され、年末には党利党略により衆議院が解散されました。アベノミクスは大企業や富裕層のための政策で、我々や中小企業には苦痛をしいる政策であります。

東日本大震災以後の長期避難生活者が尚、26万人にのぼる中、川内原発が再稼働されようとしています事に大変危惧を抱いております。

川島クリニックは今年も職員一丸となり、更に頑張ってゆく所存です。皆様の御指導、御支援を宜しくお願い致します。

石巻ロイヤル病院

（宮城県石巻市）
院長　河村　修

新年明けましておめでとうございます。

石巻ロイヤル病院は、地域を支え共に歩んでいける病院を目指して、８回目の新年を迎えることとなりました。

昨年10月　無事　南棟新築完成により、４階建　延べ床面積5300㎡、１階は受付、スペースを確保したリハビリ訓練室、訪問看護ステーションふかや、２階は回復期リハビリ病棟60床、３階は一般病棟60床、４階は150人収容可能な大会議室を設け、リハビリ屋外訓練用のリハビリ庭園竣工となりました。また、病院全体としても病床数152床から219床と増床いたしました。

震災により甚大な被害を被った石巻も、復旧復興を目指し、今なお関係各所で懸命な努力が続けられています。このような状況下、当院が急性期病院の後方支援と在宅医療支援の推進をこれまで以上に努め、石巻医療圏復興に尽力することが求められています。そして、何より地域の方々が安心して過ごせること。そのために　少しでも役立てるよう、職員一同皆心を一つにし、丁寧に配慮した姿勢で　取り組みたいと思います。

また、病床の増加に見合うよう、地域の皆様のご期待、ニーズに沿えるよう職員一同一層の努力をし、石巻医療圏における地域医療向上に寄与できるよう研鑽努力致していきたいと思います。

地域の皆様と、平穏で希望に満ちた年になりますよう心から願っています。

本年もよろしくお願いいたします。

吉祥寺南病院

（東京都武蔵野市）
院長　山下　重雄

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。昨年６月より前院長秋元先生より院長職を引き継がせて頂きました。まだまだ未熟ではありますが宜しくお願い申し上げます。昨年は本当にいろいろなことがありました。院長として長年ご尽力いただいた秋元先生は６月で退任されてしまいましたが、６月に内科として柳町先生が、７月に外科として私の大学の後輩でもある阿南先生が、９月に麻酔科の後藤先生が赴任されました。また、１月より循環器内科の先生が赴任する予定です。皆、優秀な先生で医師の充実はここ数年大きな課題でしたがこれでかなり解消されたと思います。また、非常勤として都立駒込病院名誉院長であり大腸癌領域のカリスマである森武生先生に週２日いらしていただき手術のご指導をして頂いております。

周囲の状況にも大きな変化がありました。同じ吉祥寺で長年救急医療に力を入れていた病院が11月で閉院となりました。当院と同じ２次救急病院で規模も同程度であり東京ルールの幹事病院もやっていたため武蔵野市のみならずこの北多摩南部医療圏にとって大打撃となりました。そのため、周囲住民の方だけでなく、武蔵野市からもこの病院に対する期待が高まっております。この期待にこたえられる病院の体制作りを行い、さらに安定した病院運営を行っていきたいと思っております。

本年も、どうか皆様のご支援、御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

介護老人保健施設 三鷹ロイヤルの丘

（東京都三鷹市）
施設長　福岡　正裕

2015年新年のあいさつ

皆さん明けまして、おめでとうございます。

2013年４月に、啓仁会グループで６番目の老健としてスタートした私どもの施設も、２回目の新年を迎えることになりました。

ところで、現在、我が国は、人口の高齢化が進行していく中で、一方で、本格的な人口減少社会に入っております。

2008年の人口１億2800万人をピークに、人口は減少に転じ、このままのペースでいけば、50年後には、１億人を割り込むと予想されております。

一方で、今後も、お年寄りの増加は続き、いわゆる団塊の世代が、75才に達する2025年には、社会保障に必要な費用が、ピークに達すると予想されています。

お年寄りを支える生産人口が減少する中で、その介護や医療に必要な費用をいかに捻出するか、今、大きな課題になっております。

そのためには、思い切った発想の転換と、根本的な制度改革が必要となってきております。私どもを取り巻く状況は、一段と、不透明性、不確実性を増してきていると言えます。

こういった時代において、介護保険サービスを提供する一施設として、生き残っていくために、これからも徹底した利用者目線で、利用者のために、利用者の期待に応えられるサービスの提供をめざし、努力を続けていきたいと思います。

今後とも、皆様方のご支援ご指導お願い致します。

新宿野村ビルクリニック

（東京都新宿区）
院長　渡辺　芳人

新年明けましておめでとうございます。

新宿野村ビルクリニックは、新規開業以来、今年で早くも５年目を迎えます。

昨年は、11月に内科常勤医、事務長、事務次長を新たに迎え、一日平均来院者数が150名と、とても多忙な毎日を過ごすことが出来ました。

当クリニックは、健康診断、人間ドックにも力を入れ、昨年の受診者はおよそ5800名に上りました。これは、前年度と比較すると1.5倍アップになります。

外来診療では、理学療法の機器を増設し、乳腺外科、循環器内科の非常勤医も揃え、より利用者のニーズに応えられるクリニックとなるべく邁進しております。

本年も全職員一丸となって勤務にあたってまいります。

皆様のより一層のご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

介護老人保健施設 いとうの杜

（静岡県伊東市）
施設長　田原　一二

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

静岡県の平均健康寿命は国内トップクラスでございますが、熱海市、伊東市はそのワーストを争うほどです。いとうの杜への入所者の方々の生活史を垣間見ると頷ける点が散見されます。食習慣などは「おふくろ、おやじの味」などと受け継がれていくでしょうからそこに介入させていただくのは難しいかもしれません。昨今、一般向きの健康・医療のテレビ番組が盛んですが受け手によっては「早合点」される危険性もあり、若年からの健康マネジメントが大事なことをご家族が老健訪問で気づかれることも老健の効用の一つと考えられます。改めまして基本に立ちかえり、地道にひとつずつ、できることから取り組んで参りたいと存じます。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

豊川さくら病院

（愛知県豊川市）
院長　竹下　洋基

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。当院も、啓仁会の一員として３年目を迎えることになりました。昨年2014年は、リハビリテーション棟も新築し、リハビリの更なる充実を目指しております。常勤医師も１名増員となり、診療体制も少しずつ充実の方向へ進んでいるようです。更なるスタッフの充実とともに、訪問診療及び訪問リハの拡張を目指して努力していく所存です。職員一同、常に初心を忘れず、昨年同様の貢献をしていきたいと考えております。本年も、昨年に引き続き、皆様方よりの、変わらぬご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げる次第です。

介護老人保健施設 **たんぽぽ**
（愛知県豊川市）
施設長　郷治　廣達

新年明けましておめでとうございます。

昨年は異常気象等、国内外に大きな出来事がありましたが、今年は是非とも平穏な年であってほしいものです。消費税増税も先送りとなり、賛否はいろいろございますが、やれやれ一安心というところです。国内総生産が消費税増税によりマイナスになるようでは、せっかく企業の好決算があっても国の経済が根本からダメになってしまいます。消費税増税の延期はやむを得ぬ仕儀と思われます。

少子高齢化はますます進行し、2025年には後期高齢者が4人に1人となります。言わば肩車に高齢者を背負うことになります。われわれ医療施設はますます必要とされ、地域包括ケアにおいても不可欠な存在といえます。医療と介護の財政基盤の充実を願うばかりです。

今まで培ってきた強みと、今後を見据えた戦略のもと法人ならびに豊川地区を更に発展、充実させていきたいものです。これは患者様・利用者様の幸せ・安心にも繋がります。何卒今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

医療法人　昭仁会

北　野　病　院
（埼玉県新座市）
院長　服部　明徳

新年あけましておめでとうございます。

私事ですが昨年還暦を迎え、体力・気力の衰えを少しずつ感じております。最近読んだ本で「気分が落ち込んでいるときには体の赤血球が減少し、気分が改善していくと赤血球が増えていく。原因をいろいろ探してさらに落ち込むより、赤血球のせいだと思うほうが幸せである。」本当かなあと思いますが、確かに気分が乗らない日などに、家内が口うるさい・巨人に阪神が負けた・昨日酒を飲みすぎたかなと考えるより、今日はきっと赤血球が少ないんだな。そのうち上がるかなと考えたほうが気分的にずっとさばさばします。皆さんも是非試してみてください。幸福論からもうひとつ「幸せだから笑うのではない。笑うから幸せになるのだ。」北野病院のモットーです。今年も1年笑顔で過ごしましょう。

介護老人保健施設　**四　季　の　里**
（埼玉県新座市）
施設長　関　公一

新年あけましておめでとうございます。

今年は介護報酬が見直されますが、厳しい改定になるようです。

介護施設の現状に目をつぶる政府のやり方は介護難民を増やすだけです。

私たちは、地域の声を無視せず真剣に耳を傾け、この難局を乗り越えてゆこうと思います。

「憂きことのなおこの上に積もれかし、限りある身の力試さん」熊沢蕃山

今年もよろしくお願い致します。

社会福祉法人　栄光会

統括施設長　北林　登美雄

新年あけましておめでとうございます

栄光会は今年で20年目を迎え、日頃より各地域の皆様をはじめとし、関連施設の皆様方のご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。昨年は8月に坂戸市において法人4番目の特別養護老人ホーム「さかどロイヤルの園（ユニット型120床）」を開設し、12月には所沢市で「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業」を開始いたしました。

今後も、長年にわたって培われた経験を生かし、何事にもとどまることなく成長し続けていきたいと思います。そして、地域社会において必要とされる施設、信頼される施設づくりを目指していきますので、皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム　**ロイヤルの園**
（埼玉県所沢市）
施設長　高野澤　一夫

新年明けましておめでとうございます

昨年度は、12月1日に定期巡回・随時対応型訪問介護看護「ライフアシストロイヤルの園」が開設しました。訪問看護ステーションロイヤルとの連携をより密にし、地域包括ケアの一角を担えるように一歩ずつ前進してまいります。

本年度も地域の皆様に貢献できる施設になれるよう、介護施設職員と保育園職員が一丸となって努力し、信頼をいただけるよう頑張ります。これからも、皆様方のより一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム　**さいたまロイヤルの園**
（埼玉県さいたま市）
施設長　深松　之雄

新春のごあいさつを申し上げます。

清々しい気分の中で皆さまとともに新年の幕開けを迎えることができることは、たいへん喜ばしく、まずはご入居者・ご利用者、ご家族、ボランティアなど、お世話になった皆さまに感謝を申し上げます。本年は、介護保険の制度改正にあたり、せちがらい話題に目が行きがちですが、特養については、重度化が進む一方で、その資源やノウハウを地域で有効活用することが求められています。確かに、さいたまロイヤルの園を知る地域の輪が広がってきつつあるという実感があり、皆さまが寄せる期待も大きくなってきていると思います。介護における地域の拠点となるべく、そして皆さまの期待にひとつでも多く応えられるよう気を引き締めて臨みます。

特別養護老人ホーム　**かわぐちロイヤルの園**
（埼玉県川口市）
施設長　鈴木　一登

新年明けましておめでとうございます

昨年は2月の大雪に始まり、豪雨に伴う地すべり・火山の噴火など、日本各地で大自然の猛威を痛切に感じるとともに、自然災害を前にどのように備え、いかに対応すべきかを深く考えさせられる1年となりました。

今年は、介護保険制度の改正がひかえており、福祉をとりまく環境はさらに厳しさを増すことが想定されますが、ご入居者の毎日はより明るく楽しく、安全と安心を実感いただけるよう、職員の協力と工夫のもと、課題に対し真摯に前向きに取り組みたいと思います。

施設は今年で3年目を迎えますが、まだまだ試行錯誤が続くかと存じます。どうぞ皆様のご高配を賜り、そして、尚一層のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム　**さかどロイヤルの園**
（埼玉県坂戸市）
施設長　齋藤　悦子

新年明けましておめでとうございます。

早いもので、さかどロイヤルの園が開設してから5ヶ月が過ぎました。諸先輩方にご指導いただき、また、地域の皆様、ご入居者、ご家族様に支えていただき新しい年を迎えることができました。

まだまだ「さかどらしさ」と言えるものはありませんが、これからも「職域を超えて一致団結」を合言葉に、ご入居者をはじめ、皆様に信頼される施設づくりを目指し努力していきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

ケアハウス　ロイヤルの園
（埼玉県所沢市）
施設長　村田　康二

新年明けましておめでとうございます。

施設長として4度目の正月を迎えました。昨年は広島の豪雨による土砂災害、御嶽山の噴火災害、長野県北部の地震災害など災害の多い年でした。幸いケアハウスは、事故もなく開設以来16年を経過し、80名全員の皆様が無事に過ごされました。

本年は未年、私事ですが私の干支であり、還暦を迎える歳となりました。群れをなす羊は、家族の安泰を示しいつまでも平和に暮らすことを意味していると言われています。本年が災害のない希望に満ち溢れた年でありますように、そして、当ケアハウスの入居者の皆様に明るくて暖かく、家庭的なホームと評価されるよう引き続き努力して参りたいと思います。これからも、皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。